



## 予算規模

一般会計／1,132億2,000万円(前年度比31億8,000万円、2.9%の増↗)

全会計／2,353億9,678万3,000円(前年度比15億4,289万5,000円、0.7%の減↘)

### 歳入の主な状況(前年度比)

- ◆市税／2億円、0.4%の増↗
- ◆県支出金／3億6,000万円余り、4.8%の増↗
- ◆繰入金／4億5,000万円余り、21.4%の増↗
- ◆市債(市の借金)／24億円余り、29.7%の増↗
- ◆国庫支出金／7億3,000万円余り、4.4%の減↘

### 歳出の主な状況(前年度比)

- ◆土木費／5億円余り、5.8%の減↘
- ◆衛生費／24億8,000万円余り、25.2%の減↘
- ◆民生費／16億3,000万円余り、3.7%の増↗
- ◆教育費／36億2,000万円余り、40.6%の増↗

## 活力を生み出す

- ◆既存産業や次世代産業の育成を支援します  
▽企業立地の促進による産業の多角化や高度化の推進

- ◆女性の活躍できる環境をつくります  
▽事業所内の保育施設整備の助成

- ◆幹線道路の整備を進めます  
▽名岐道路整備の国・県への働き掛け  
▽苅安賀駅付近の鉄道高架事業、西尾張インターチェンジ(仮称)・新濃尾大橋(仮称)の早期完成に向けた取り組み

## 未来の人財を育てる



- ◆学校教育施設を整備します  
▽全ての小学校にエアコンの設置
- ◆特色ある教育活動を実施します  
▽「わくわくプログラミング教室」の開催
- ◆歴史・文化に親しめる環境を整えます  
▽国登録有形文化財「旧林家住宅」の耐震補強・改修

## 人を呼び込む ～シティプロモーション～

- ◆子育て世代に選ばれるまちをつくります  
▽一宮市のPR動画の制作

## 持続可能で未来につなげる

- ◆公共施設の適切な維持管理に努めます  
▽長寿命化に向けた銀座通公共駐車場の耐震診断  
▽旧産業体育館の跡地への体育館等複合施設の建設



# 30年度の市政運営の方針をお知らせします

詳しくは、市ウェブサイトをご確認ください。 ID 1023725

## 基本姿勢

- これから10年間の市政を見据えた「第7次一宮市総合計画」を基に、さまざまな事業への取り組みを始めます。
- ICT・情報化の推進などの「デジタル市役所」に加え、官民連携や組織の活性化などに重点を置き「人のつながり」にも意を用いた予算としました。
- より質の高い行政サービスが提供できる「一宮市ならでは」の中核市を目指します。
- 一宮駅周辺の容積率の緩和により土地の利活用を誘導し、人・企業・投資を呼び込むことで地域の人口増・税収増の実現を目指します。

## 主な事業方針

### 健やかにいきる

#### 安心して子育てができる環境をつくります

- ▽認定子ども園の開園
- ▽小規模保育事業所の増設
- ▽放課後子ども教室の拡大

#### 高齢者が安心していきいきと暮らせるよう支援します

- ▽木曾川老人いきいの家に「介護予防・地域交流スペース」の設置



### 快適にくらす



#### 水と緑を活かしたまちをつくります

- ▽光明寺公園・大野極楽寺公園の自転車道・遊歩道の再整備
- ▽富田山公園再整備手法の検討など、ミズベリングへの取り組み

#### 総合的な住宅対策に取り組みます

- ▽老朽空き家の解体費補助の創設

#### 公共交通網の整備を進めます

- ▽「i-タクシー」を「i-バスミニ」として本格運行

#### 歩行者や自転車安全に通行できる交通環境を整備します

- ▽通学路のカラー塗装、横断歩道橋の長寿命化の推進

### 安全・安心を高める

#### 自主防災力の向上を図ります

- ▽災害時の疑似体験ができる「VR（仮想現実）動画」の制作

#### 火災や救急に対する体制の強化を進めます

- ▽消防緊急通信指令システムの部分更新
- ▽はしご付消防自動車などの更新

